

## いないいないばあ



### こどもの様子

- ・目の前で動くものを目で追う
- ・声のする方向に注目する
- ・記憶に連続性をもつ(予測する)



見えていなかったものが見えてくる。それが「いない、いない」のリズムに合わせて、予測できるときに「ばあ」と出てくる顔。こどもが自分で予想したリズムと顔の出現がぴったり合うこの快感、こどもの探究心を刺激する第一歩のふれあい遊びです。ちょっとタイミングをずらせると、こどもは「ばあ~の顔」を探します。

身体全体で楽しんだことを目で確認できるとてもよい機会です。楽しんで脳によい刺激を与え、かつ親子で楽しめる瞬間です。いろいろな「いないいないばあ」の絵本も出ています。

## ポイント

手で「いないいないばあ」ができるといいけれど、手がふさがっているときはお鍋のふたで「ばあ！」洗濯物で「ばあ！」などいろいろ楽しんでみてください。あかちゃんは、何度も何度もして欲しがります。そのとき、あかちゃんとしっかり目を合わせることを忘れずに。



### こんな場面で

- ・楽しいときだけでなく、こどもがむずかるときにも笑顔に変わります。
- ・衣服を着脱するときに、顔や手や足を出しながら、「いないいないばあ〜」
- ・入浴前、入浴中に、タオルや衣服で顔を隠して「いないいないばあ〜」
- ・カーテンや出入り口、机の下などに隠れて、「いないいないばあ〜」